

わくわく いくさと

令和元年 11 月号

TEL 82-4380

～秋の自然に親しむ中で～

《豊かな感覚、感性へ》

落ち葉を踏む感触や音、目を釘付けにする虫の動き、栗のイガに触った時のチクチク感、舞い降りる落ち葉の動きの美しさと面白さ、かぼちゃクッキーの甘い匂いと味。様々な感覚を働かせ、自ら感じ取る世界に旺盛な好奇心を発揮しています。

《伝えたい思い》

心動かされる体験をしたときに、それを伝えたいくなります。言葉や表情、動作などを交えながら精一杯にする自分なりの表現を受け止めてもらうことで、伝わる喜びを感じ、新たな“やりとり”が生まれていきます。

0 歳児

1 歳児

2 歳児

3 歳児

《友だちと一緒に》

～友だちと一緒に面白いことを見付ける～
～顔を見合わせて笑う～

「友だちと一緒に居ると楽しいな」から始まる人間関係。

4 歳児

5 歳児

《表現する》

散歩で拾ったどんぐり、桜の木の落ち葉、初夏に植えたセンニチコウ。様々な自然の恵みを遊びに取り入れています。落ち葉でお弁当作り、どんぐりのケーキ屋さん、木みのマラカスと太鼓で秋の演奏会等々。

生き生きとイメージを広げたり深めたりした経験が、心の中に豊かに蓄積していきますように。

《問い、考える、試す、探求、伝える》

『どんぐりから小さな芽がでてきたよ』どんぐりの木を育てたい！出てきた芽を大きくするにはどうすればいい？『どんぐりの遊び場を作ろう！』どんな遊び場にしようかな。遊び場をつなげてみよう。どんなふうにつなげる？